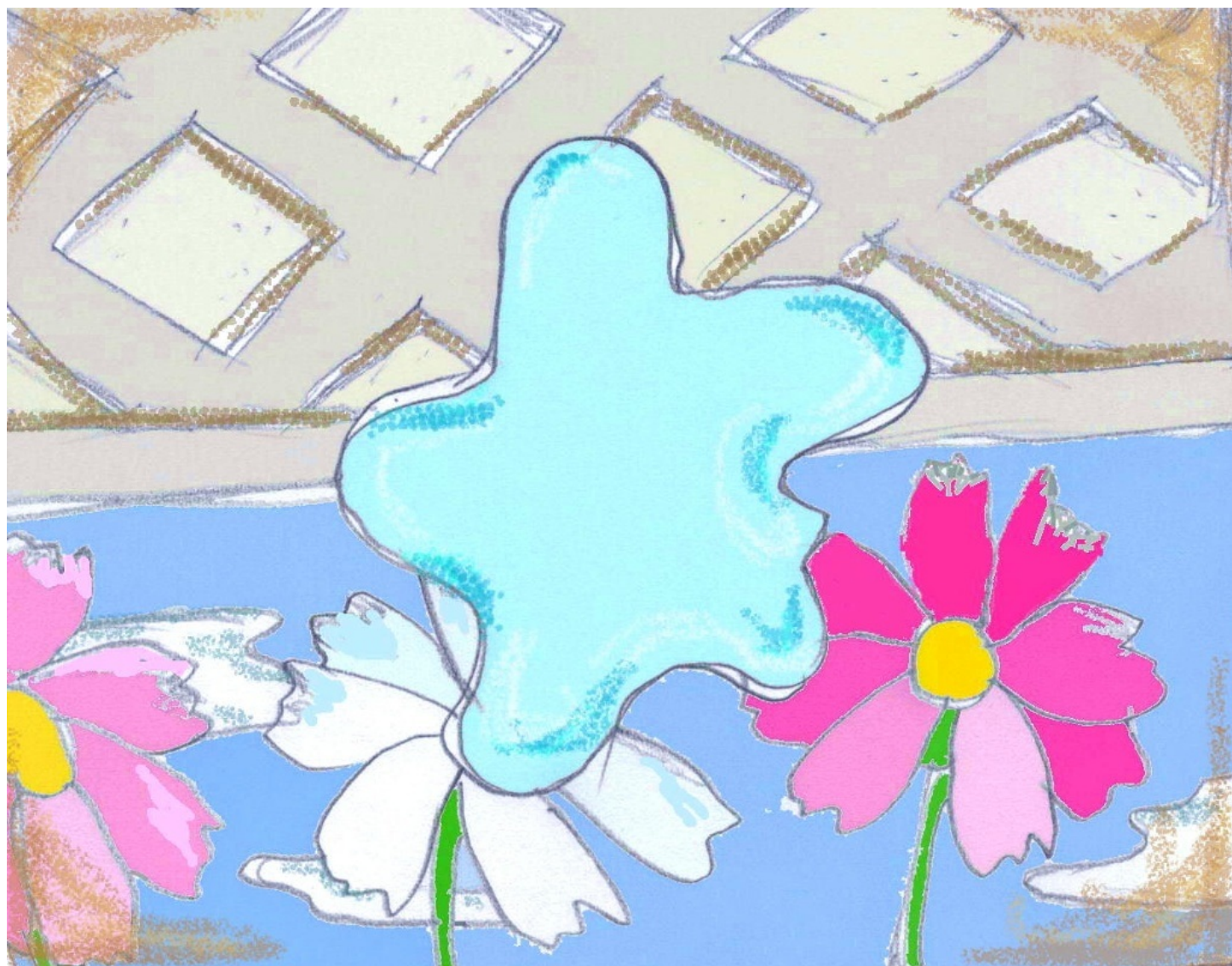


セミが泣いている

雨野 小夜美
(あめの こやみ)

セミが泣いている

ほら セミが泣いている



セミは嫌われ者で
変な声で 変な意味で 注目の的だった
ボクは何のために生まれたの
3週間しか生きられないのに

セミは嫌われ者で
スズメに「もういなくなれ」
って言われた
「電柱にでも行け」
って言われた
反論できなかった



セミは嫌われ者で
どうしようもなく存在自体 嫌われ者で
帰る場所があるなら帰りたいかった
どこにも 無かった

セミは嫌われ者で
親も家族も誰もいなくて
ボクは何のために生まれたの
泣くことでしか 生きられないのに



セミが泣いている

セミが泣いている

カラスに「声が邪魔だ」って言われても

やっぱり泣くことでしか生きられず

セミが泣いている

セミが泣いている

田舎の夜を

涼しくなってきたやさしさに包む声

気がつけば

人間たちが見上げてた

「もう夏も終わりだね」って

セミが泣いている

セミが泣いている

ボクの泣き声が

まったく知らない誰かに

必要とされている



セミが泣いている
ほら セミが泣いている
ずっと悲しいままでいよう
泣いていよう
それがボクの使命なら



セミが泣いている
セミが泣いている

もううれしいのか悲しいのか
わからなくなってきた
きっと　うれしいんだろう

セミが泣いている

セミが泣いている

人間の親子が葉っぱの下で耳をすます

うれしくて うれしくて

生まれてきたのが



セミが泣いている
ほら セミが泣いている
コスモスの裏にかくれて
聴こえてるよ
大丈夫だから



セミが泣いている

<http://p.booklog.jp/book/110118>

著者：雨野 小夜美

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tinycolor/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/110118>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/110118>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ